

# 石戸藩大名 牧野氏関係年表

(上尾市史 牧野家と足立郡石戸領 重田正夫氏より加筆引用)

牧野康成は最初今川氏真に仕えており、永禄7年徳川四天王の一人本多忠勝と槍を交えるが勝敗がつかず、槍を捨てて素手で組合ったがやはり勝敗がつかなかったという



## 二代 牧野康成

年号	西暦	月日	記事
永禄 8	1563		牧野家は三河国の豪族、はじめ今川氏に属したが、初代定成(さだしげ)が、家康に服属
天正 3	1575		二代康成(やすしげ)は、父とともに家康に召し出され、三河長篠合戦に活躍する
天正 10	1582	6.21	康成、徳川家康の伊賀越えに随行する
天正 14	1586	10	秀吉との和睦のため家康が上洛した折、御側勤仕となり、本多正信、大久保忠郷、酒井忠世とともに側近
天正 18	1590	8.1	武蔵国足立郡石戸領5,000石は、牧野康成に与えられ、川田谷に陣屋を置く
慶長 4	1599		牧野康成51歳で没し、家督は三男信成(のぶしげ)が21歳で継ぐ、
慶長 5	1600	9	牧野信成、徳川家康に従軍し関ヶ原の合戦に参加する
慶長 10	1605		この頃、信成により、石戸御茶屋建設される(牧野家譜)
慶長 11	1606		徳川秀忠に仕え、大番頭となる
慶長 15	1610		小姓組の番頭になる
慶長 19	1614		御書院番頭になる
慶長 19	1614		大坂冬の陣では、伏見城を守備する
慶長 20	1615		大坂夏の陣では、城攻めに参加し、大砲で大阪城のやぐらを破壊するという功績をあげる
元和 2	1616		大坂の陣後は、後の三大将軍、家光に付属される
寛永 3	1626		2,000石を加増される

出世道



大番頭\*平時は江戸城・大坂城・二条城の警備を務め、また有時及び行軍に際しては幕府軍の一番先手の備並びに騎馬隊指揮官(侍大将)として、番方(武官)で最高の格式を誇った。

幕府最強の武闘派大名誕生

## 三代 牧野信成

寛永 10	1633	4.23	4,000石加増され、合計11,000石の大名となり、石戸藩が成立する
寛永 12	1635	11	幕府内の職務は、酒井忠世などとともに「金銀納方」を管轄する、のちの「留守居」にあたる要職につく
寛永 18	1641	8	後の四代将軍家綱の傳役(もりやく)を命ぜられる
正保元	1644	3.18	信成は11,000石余を加増され、都合22,600石で下総国関宿城を与えられ、ここに石戸藩は廃藩となり、その後、石戸領5,000石は、嫡子親成(ちかしげ)が拝領する
正保 4	1647	11.26	信成が隠居すると、親成の石戸領5,000石は隠居領として与えられる
			四代親成(ちかしげ)も幼年から家光の小姓となり、父信成の隠居に伴い、家督を相続し、関宿城25,600石余を拝領する
正保 4	1647	11.26	牧野信成73歳で没、鴻巣勝願寺に祭る、家綱から香典、白銀100枚が下され、勝願寺にて、千部経の修行
慶安 3		6.26	父信成の末期の願いにより、隠居料となっていた石戸領 5,000 石は、第三人に分与することが許される
承応 3	1654	11.28	親成(ちかしげ)、京都所司代を任せられ河内国高安群で一萬石を加増される
明暦 2			関宿を転じ、摂津国嶋上、嶋下、河内国四郡で22,600石を与えられ、先の高安群の一萬石と合わせ、32,600石となる
寛文 8	1668	5.23	2,400石を加えられ35,000石となり、丹後国田辺に移る
延宝 5	1677	9	牧野親成(ちかしげ)没、以降、明治維新まで、牧野家は代々田辺に住むが、墓は歴代勝願寺に祭る

鴻巣御殿と石戸御茶屋は一体のものとして扱われる

## 三河衆

No.	名前	出身地	石高	職名	その他
1	古川勝久	安房~西三河	500	執政	三河衆の中心人物、はじめ200石、石戸拝領に伴い300石追加。
2	城所 某	三河	200		
3	竹内成純	三河	300	郡代家老	三代頼成の母は、深井氏
4	榊山政吉	三河	200	御側向御用目付	石戸領拝領に伴い、50石追加
5	磯田吉次	三河	150	家老	石戸領拝領に伴い、50石追加
6	蟹江 某	尾州	50		石戸領拝領に伴い、50石追加
7	杉本 某	三河	500	家老	
8	山中 某	三河	180	大納戸使	
9	中野 某	遠州	200		
10	佐原 某	三河	250	家老	
11	円城寺某	下総	100	家老	
12	今井 某	三河	50	御鷹師頭	
13	上野忠義	陸奥	150	御伽	
14	井上重次		200	御伽	岩付太田氏の家臣
15	原 某	下総	80		
16	原正長		150	大納戸土頭	
17	浅野重之	遠江	650	家老	
18	中江忠俊				
19	篠崎勝矩		150		
20	三田正重	近江	50		
21	寺田利吉	房州	20人扶持		
22	宮原 某		500	関宿城代	北条氏政旧臣
23	香谷久宗		150	関宿	
24	武田信久				
25	手嶋 某		100	関宿	
26	相馬政義			給人	
27	山田良善	武州石戸		御広場番人	
28	戸野清直				今川家旧人 母が親成の乳母となり母子とも仕える
29	内田 某	武州石戸		中小姓格10石	後に代官50石
30	西村 某	武州石戸	9両2分	御料理人	石戸より奉仕
31	加藤 某	武州石戸			石戸生まれ、江戸に召し出される
32	木村 某		218	江戸留守居	子無く断絶
33	今井 某		130	大坂陣留守居	子無く断絶
34	井原 某		180		北条家の旧臣、浪人をして江戸に住む
35	岡本 某		230	大坂陣御伴	二代目に直参
36	井上 某			大坂陣御伴歩行衆	明暦の初めに退去
37	角田 某		170	大坂陣御伴歩行衆	子無く断絶
38	櫻本 某			大坂陣御伴歩行衆	
39	伊原 某			大坂陣御伴歩行衆	
40	倉浪 某			大坂陣御伴歩行衆	
41	鈴木 某			大坂陣御伴歩行衆	
42	小池 某			大坂陣御伴歩行衆	

牧野家臣団の全容 三代信成まで

## 石戸衆



